

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、4事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、歯科保健医療の高度な専門的知識・技術を教授するとともに、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

平成27年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中5項目（研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、1項目（教育）について「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、学生の歯科医療人としての自覚を高めるため、歯科医学教育センターを立ち上げ、歯学教育全般の改編を図るなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成27年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより社会貢献の充実に向けた取組を更に推進されることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

教育については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成
 - ・歯学教育全般の改編を進めるために、歯科医学教育センターを立ち上げ、早期登院実習及び学外宿泊研修を単科科目として開講した。
 - ・平成27年度の歯科医師国家試験合格率が全国29大学中16位と低下（平成26年度4位）しており、合格率の高水準への回復に向け、原因分析と対策に取り組む必要がある。

- (2) 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成
- ・口腔保健学専攻修士課程について、入学定員充足率を充たすとともに、修士課程から歯学専攻博士課程に進学できる体制を整備した。
 - ・文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」において、4大学間で単位互換を実施するとともに、国際会議を開催し、大学院生による研究発表を行った。
- (3) 教員の教育力の向上
- ・教育改善等に係る講演やワークショップの開催に加え、大学ガバナンス等に関する研修を実施することにより、教員の認識を高め、FD（※）の推進に努めている。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）
教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

- (4) 適性のある優秀な人材の確保
- ・模擬講義の実施など高大連携に取り組むとともに、高校訪問、オープンキャンパス、施設見学会等の入試広報活動を積極的に実施し、歯学科、口腔保健学科ともに志願倍率が目標を上回った。
- (5) 学生への支援
- ・口腔保健学科において、「就職支援実施会議」を活用した組織的就職支援体制により、引き続き就職率100%を達成した。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。
- ・文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」に連携校として参加し、高齢者支援に係る実践的教育を推進した。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・学術交流協定締結校から短期留学生の受入れを開始したことや、短期海外派遣プログラムを正規の選択科目として実施したことを評価する。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・新たなプロジェクトの計画書等の作成を教職連携で進めるなど、戦略的・自律的の大学運営に努めている。
- ・附属病院の診療体制を専門診療部と総合診療部に分けるなど、患者中心の診療体制と学修者中心の教育体制の共存を図った。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・紹介歯科医師が患者情報を提供するシステムを構築するなど、地域医療連携を積極的に進めている。
- ・歯科診療所では対応困難な患者に対する訪問歯科診療及び訪問口腔衛生指導の実施回数が目標を上回った。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。
- ・創立百周年記念事業により設立した基金を活用し、国際交流活動を推進するなど、大学のプレゼンスを高めた。